

アイダホ州：小麦作柄と気象状

2005年7月19日

2005年7月17日現在

7月17日に終わる1週間の気象は前週に引き続き、高温・乾燥であった。3週間に亘り、乾燥状態が続いた。各地の最高気温葉 88~108度F、夜間の気温は41~46度Fであった。N地区での最高気温は88~101度Fであり、平均気温は平年を1~3度F上回った。SW地区の最高気温は100~108度であった。降雨は両地区ともに記録されなかった。Topsoilの水分並びに灌漑用水の供給状態は前週より悪化した。1週間の州平均農作業稼働日数は6.8日（前週：6.8日）であった。

冬小麦は59%が登熟期にあり、この進捗は昨年（76%）並びに5年平均（72%）より遅れているが、各地で収穫が開始された。春小麦の進捗も昨年より遅く、16%が登熟期となった。昨年同期では31%（5年平均：21%）であった。

高温の為Strip rust(黄さび病)が減少し、高温・乾燥状態が続いた割に冬小麦、春小麦共に作柄は前週と略同じ評価であった。

USDA発表の7月1日付け冬小麦の生産量予想では、単位収量は6月1日付け予想より1.0 bu/ac増加し、92.0 bu/acreとなった。6月中の適時の降雨、異常高温が無かったことが6月1日付け予想より増収となった要因と言える。春小麦の予想では、単位収量は80.0 bu/acで昨年実績より1 bu/ac多い結果であった。詳細は別表の通り。

Topsoil 土壌水分：2005年7月17日現在

	Very short	Short	Adequate	Surplus
This Week (%)	2	24	68	6
Last Week (%)	1	18	73	8

小麦生育状況：2005年7月17日現在

Crop year	North			Southwest			South Cent.			Sate		
	05	04	Ave	05	04	Ave	05	04	Ave	05	04	Ave
Spring W. Headed (%)	96	98	87	100	100	100	99	99	99	87	92	90
Winter W. Harvested	1	1	2	3	7	8	3	3	1	1	2	2

vg. means 5-year 2000-2004 crop average. 05 means 2005, 04 means 2004 crop.

小麦の作柄状況：2005年7月17日現在

	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Winter Whet This week (%)	0	1	5	65	26
Last week (%)	0	1	5	64	30
Spring Wheat This week (%)	0	0	3	67	30
Last week (%)	0	0	3	68	29

灌漑用水状況：2005年7月17日現在

	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week (%)	0	2	26	64	8

Source: Idaho Agricultural Statistics Service

7月1日付けUSDA冬小麦生産量予想：

State	Harvested Area 1,000 acres		Yield Bushels/acre			Production 1,000 bushels	
	2004	2005	2004	2005		2004	2005
				June 1	July 1		
ID	700	730	90.0	91.0	92.0	63,000	67,160
USA	34,462	34,271	43.5	44.1	44.5	1,499,434	1,525,302

7月1日付けUSDA春小麦生産予想：

Crop	Harvested Area 1,000 acres		Yield Bushels/acre			Production 1,000 bushels	
	2004	2005	2004	2005		2004	2005
				June 1	July 1		
ID	490	450	79.0	-	80.0	38,710	36,000
State	13,174	13,637	43.2		43.2	568,918	588,740

当該作柄・気象レポートに付いてのご質問は下記までにお問い合わせ致します。

小川正晃 : <mailto:ogawa.max@omicnet.com>